

# 平成 27 年度 第 1 回全国レース委員会

日 時：平成 27 年 11 月 28 日（土）13：00～11 月 29 日（日）12：00

場 所：東京夢の島マリーナ（東京都江東区夢の島 3-2-1）

出席者：川上 宏、岡田 彰、岡村勝美、高橋祐司、大庭秀夫、磯部君江、古屋勇人、

篠宮元子（29 日）、津野 洋、京黒太郎、田口真一、倉持隆一、古宮裕介、石倉俊宏、  
中村和哉、松尾英樹（29 日）、石川 彰、清水教男、中川千鶴子（29 日）、山本俊貴、  
長谷川淳、長塚奉司、羽柴宏次、木内 誠、斉藤晴彦  
（欠席）

三浦信郎、増田 開、中村光恵、宮崎 景、小柳勝也、鍵富真一、小寺孝典、斉藤 修、  
坂口陽平、永松馨介、坂元善行、飯沢則之、稲葉健太、末木創造、名方俊介、黒川重男、  
吉留容子、小林 昇、大坪 明、大村雅一、大原博實、奥村俊宜、鈴木 修、寺澤寿一

事務局：小磯紀明、穂積洋平、駒崎ナエコ（29 日）

## 議 事 録

### 1 レース・マネジメント小委員会（報告事項）

岡村副委員長より、資料に基づきレース・マネジメント小委員会活動状況について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・今年度新たにマークレイヤーセミナーを行ったが、来年度以降も今年度実施していない水域を中心に計画していきたい。
- ・RO 認定講習会については、回答率に低いところを講習内容に反映させながら定期的にコンテンツ見直していきたい。

### 2 レース委員会事務局（報告事項）

小磯事務局員より、資料に基づきレース委員会事務局活動状況について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・認定証の郵送について、CRO 認定証については費用圧縮の面から可能な限り事前に事務局へ一括郵送できるように協力をいただきたい。

続いて、高橋事務局長より資料に基づき報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・2016 年度全日本大会の日程調査については、各加盟団体からの提出締切を 1 月 31 日として通知する。今後国際大会の予定も多々入ってくるので、早めに発表できるよう作業を進める。

### 3 オリンピック小委員会（報告事項）

岡田副委員長より、資料に基づきオリンピック小委員会活動状況について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・2016 年度活動計画について、運営メンバーのスキルアップとして国内主要大会への ISAF Officials の招聘を実施事項の柱に、ISAF Race Management Clinic 開催、国内で活動のない艇種の海外視察派遣の事業化について、明日の協議事項でじっくり話していきたい。

### 4 和歌山国体報告（報告事項）

中村和哉委員より、資料に基づき和歌山国体について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・川上委員長：2020 オリンピックをふまえた今後の国体のあり方については今後の検討課題。
- ・岡田副委員長：国体の構想にできるだけ早い段階（リハの前）からレース委員会として関わっていききたい。

## 5 岩手国体リハーサル大会報告（報告事項）

長塚オブザーバーより、資料に基づき岩手国体リハーサル大会について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・リハ大会を経験し、地元スタッフに前向きに勉強したい気持ちが芽生えてきた。今後、更なるレベルアップを図っていききたい。

## 6 2020 に向けた国際大会の開催予定（報告事項）

斉藤愛子氏より、2020 東京オリンピックに向けて現時点での進捗状況について報告した。

## 7 各水域・外洋団体等からの活動報告

各委員より資料に基づき各水域の活動を報告した。

田口委員（北海道水域）

- ・北海道水域のレベル向上のため、来年度マークレイヤセミナーの実施を検討したい。

古宮委員（関東水域）

- ・救命救急講座の開催するため、海での救命の実績のある地域の消防と連携していききたい。

石倉委員（中部水域）

- ・マークレイヤセミナーが好評であったので、今後も継続して開催していききたい。

石川委員（外洋北海道・東北水域）

- ・レース委員会への要望として、運営用品及び運営艇の支援  
⇒備品等の支援等については、近隣の団体との連携をお願いしたい。

## 8 外洋小委員会活動報告（報告事項）

清水委員より、資料に基づき外洋小委員会活動について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・Japan Cup の今後の継続した開催運営を可能にするために責任の所在等について整理をしていかなければならない。
- ・石川委員：外洋加盟団体長会議において、レース・オフィサー、アドバイザー制度について議論を行った。今後いろいろな意見を集約し、まとめていききたい。

## 9 外洋系レース・オフィサーについて（案）（協議事項）

清水委員より、外洋系レース・オフィサーについて資料に基づき説明し、議論を行った。

- ・レースアドバイザーについて、レース運営のアドバイスはするが責任はありませんというのは、いかななものか。過去のフレームにこだわらないで新しいものを考えていった方がよいのではないか。
- ・責任を持った中で運営にあたってもらうという意味で、アドバイザーという言葉も使わない方

向で検討する。この事項については再度、外洋系内で揉んでいただきたい。

#### 10 公認審査状況（課題含む）（報告事項）

松尾委員より、資料に基づき公認審査状況について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・公認申請は無いが全日本大会と謳った大会が見受けられた。（2件）
- ・「後援」については、「共同主催」「公認」に準じて審査をするが、実際に不備があるが総務委員会で受理されて「後援」となるレースが複数件ある。今後見直しが必要である。

続いて川上委員長より、レース運営規則改定案について報告し、次のとおり補足説明を行った。

- ・セーリング競技ではないイベント（会員増強等）の後援については、総務委員会が審査するということで運用基準を変更した。
- ・レース運営規則において、JSAF が主催するレースを明記すること、及び外洋団体が開催を予定する大会の届出をディンギー系と同様に1月末までとすることについて理事会へ提案する予定。

#### 11 TOKYO2020 運営スタッフ育成計画（案）（協議事項）

岡田副委員長より、TOKYO2020 運営スタッフ育成計画（案）について資料に基づき説明し、議論を行った。

- ・国内大会運営を通じた運営メンバー候補のスキルアップの対象とする大会については、①全日本470級、②全日本レーザー/ラジアル、③全日本学生ヨット個人戦、④ウインドの全日本クラスの大会の4大会で修正・調整し、予算申請をしていく。
- ・海上運営チームの第1次編成については、2017年ワールドカップ開催を視野に入れた中で、コアメンバー、津野委員・京黒委員・古屋委員・岡田副委員長・川上委員長・岡村副委員長を中心に2016年度中に第1次編成を完了することとする。
- ・海上運営チームについて、レース運営の場で女性も活躍できることをアピールするため、7つめのチームとして女性のみで編成したチームをオリンピック準備委員会に提案していく。

#### 12 ISAF Race Management Manual2014 の翻訳について（協議事項）

岡田副委員長より、ISAF Race Management Manual2014 の翻訳について資料に基づき説明し、議論を行った。

- ・翻訳チームについては、メンバー案の6名プラス推薦のあった花田氏と打ち合わせの上、進めていく。
- ・将来的に今後の若手の取り込みとして、翻訳作業など英語スキルの必要な業務を学連に紹介していく。

#### 13 H27ARO/CRO 新規認定講習会及び NRO 認定講習会の開催について（協議事項）

岡村副委員長より、H27ARO/CRO 新規認定講習会及び NRO 認定講習会の開催について、資料に基づき説明し、承認された。

- ・NRO については、レースマネジメントセミナーの受講が更新要件となることを踏まえ、開催の計画をしていきたい。

#### 14 H28 セミナ、ARO/CRO 認定講習会計画について（協議事項）

岡村副委員長より、H28 セミナ、ARO/CRO 認定講習会計画について、資料に基づき説明し、承認された。

- ・NRO の更新要件の通知については、各水域レース委員にお願いする他、HP への公示等漏れの無

いように2重3重の対策をしていきたい。

#### **15 平成28年度レース委員会事業計画（案）について（協議事項）**

川上委員長より、平成28年度レース委員会事業計画（案）について、資料に基づき説明し、承認された。

- ・昨年からの変更点：H28 レース委員会活動計画の（3）（5）（9）を追加した。

#### **16 平成28年度レース委員会予算（案）について（協議事項）**

川上委員長より、平成28年度レース委員会予算（案）について、資料に基づき説明し、一部修正することで承認された。

#### **17 レース委員会の会議形態について（協議事項）**

川上委員長より、ディンギー系と外洋系の会議の形態について提案があり、外洋系の会議はレース委員会全体の会議の後、レース委員会の会議の一環として行われるということで承認された。

次回、全国レース委員会の日程（予定）は、平成28年3月5日（土）6日（日）  
場所は東京都夢の島マリーナ会議室